

## 平成 28 年度第 3 回豊田市図書館協議会 議事録

日 時：平成 28 年 12 月 16 日（金）

午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

場 所：豊田市中心図書館 7 階会議室

出席者：豊田市図書館協議会委員 10 名（10 名中）

豊田市中心図書館職員（事務局） 7 名

### 1 開会

### 2 館長あいさつ

### 3 会長あいさつ

### 4 議題

#### （1）指定管理者の指定について

（事務局資料説明）

（委員）

12 月 19 日に決議見込みとのことでしたが、市議会ではどのような議論がされましたか。

（事務局）

議案質疑にて、指定の経緯や審査内容、評価、今後の対応について質問があったほか、12 月 12 日の教育次世代員会にてさらに具体的な内容についてなど質問がありました。

（委員）

11 月 25 日の経済財政諮問会議にて、図書館などの管理について指定管理者制度導入を見送るという総務省の方針が発表されました。

（事務局）

このことは地方交付税の算定方式についてのものであり、指定管理者制度の是非に関わるものではありません。指定管理者制度に関する総務省の見解としては、平成 24 年度、評価にあたっては価格でなく運営の質を重視すべきという動きがありました。今回の公募、審

査についてもこれを踏まえ、サービス得点を 8 割、価格得点 2 割で運営の内容を重視した評価をしました。

(委員)

指定管理者について、指定予定の事業者は司書率が高いとのことでしたが、経験年数はどうですか。資格の有無より経験が重要です。選書・除籍について問題はないですか。また、先日新聞で、近隣の書店が健全な運営をしている状況を図書館が作るべきとの記事を読みました。今後、資料はどのように購入されるのでしょうか。加えて、学校などの連携はどうなりますか。

(事務局)

従業員の個別の経験年数については、採用がこれからとなるため、現在、具体的な情報はありますが、充分配慮してもらおうよう調整を行います。選書・除籍については市の基準に従って行いますが、最終決定については教育委員会の事前承認を要することを仕様書に明示しています。資料購入についても、地元書店からの資料調達に努めることと指示しています。学校などの連携についても、運営基本方針に従い、子どもの読書活動の推進を図るよう示しています。現在に引き続き図書館管理課に教員の職員を配置し、調整役となって進めていきます。

(委員)

TRC（（株）図書館流通センター）について、運営実績 492 館に対し職員が 332 名と少ないですが、TRC が直接運営するわけではないのでしょうか。

(事務局)

運営は TRC が直接行います。332 名は TRC が終身雇用した正社員の数です。この他に期限付きなどの職員がおり、総数は 7500 名ほどです。

(委員)

332 名の職員は、実際に図書館に勤務する人ではなく、経理や営業などに従事しているということでしょうか。

(事務局)

その通りです。ただし、一部は図書館に勤務している職員です。基本的に図書館運営に携わる人は、期限付きも含みますがすべて TRC の就業規則に従う職員であり、派遣は含みません。

(委員)

「司書率が高い」というのは、ホームメックスでなく TRC の職員についてのことですか。また、具体的な数字はありますか。

(事務局)

その通りです。数字としては、条件として、資格保有率 50%以上と決めました。TRC の実績 492 館のうち 315 館が指定管理ですが、これらの図書館でもこの条件がクリアされていることが審査委員会で評価されました。

(委員)

図書館管理課について、市の組織として現在より規模が小さくなるとのことですが、学校などとの連携を維持できるでしょうか。

(事務局)

図書館管理課を設置する大きな目的の一つが、学校などとの連携です。団体貸出、子どもの読書活動などについては図書館管理課が積極的に関わっています。

(委員)

先ほど、運営実績が 492 館、指定管理館が 315 館とお話がありましたが、この差は何でしょうか。

(事務局)

492 館のうち 315 館が指定管理、残りは業務委託などです。

(委員)

TRC が運営した館で、これまで問題はなかったのでしょうか。

(事務局)

従業員が多いこともあり、細かい問題があったとは聞いていますが、指名停止などの不祥事はありません。

(委員)

教育活動の中で読書の大切さは効果が見えにくく、企業が入ると余計に評価が難しくなります。

(事務局)

市は数値的な目標を立てるより、方針をしっかりと示し、運営をしやすいことが重要と考えます。

(委員)

今後の運営体制の変化について、市民にはどう伝えていくのでしょうか。

(事務局)

現在は正式な指定前のため、関係部局と調整を行っている段階です。ただ、市民サービスの大きな低下があるわけではなく、むしろサービスの拡大となるため、以前、広報とよた 7 月 1 日号で周知はしましたが、今後どう伝えていくかについては検討中です。

(委員)

以前ボランティア向けの説明会がありましたが、そういった機会は今後も設けますか。

(事務局)

今後、可能な範囲で機会を設けられるよう検討します。

(2) 図書館アンケート概要について

(事務局資料説明)

(委員)

図書館にどういったことを求めているかを記入する欄があるとよいと思います。

(委員)

人気の本を大量購入し、ブームが去ると複本が多く残るといった問題があります。このことについて、市民の意見を聞いてみるのも良いのではないのでしょうか。

(事務局)

ご意見を参考に記入欄を増やすことを検討いたします。

(委員)

こういったアンケートの実施は今回が初めてですか。

(事務局)

平成 26 年度以前は定期的に行っておりました。

(委員)

利用者にとって何がよいサービスとなるのか、市民のために何をすれば喜ばれるのかが明確になるアンケートができるとよいと思います。

(委員)

自分が高齢者だったらと考えると、字が小さいように感じます。今後のアンケートの基盤になるものと思いますので、うまく活用し、サービスに結び付けていただきたいと思います。

(事務局)

いただいたご意見を踏まえ、検討させていただきます。

【閉会】